

## 重要取組シート

上下水道局 水道部

取組項目	上下水道の安全・安心の確保 (水道水質の維持・老朽化対策・地震対策(水道))
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 令和 8 年 4 月から水道水の水質検査項目に有機フッ素化合物 (PFOS・PFOA) が追加され、検査が義務化されることを踏まえ、自己検査体制を整備し、安全かつ安心できる水道水を安定的に供給していく必要がある。</li> <li>■ 水道事業が保有する配水池 31 池、水道管路約 2,400km の老朽化が進むなか、市民の安全・安心を確保するため、大規模な断水や濁水、2 次災害等の発生を防止できるように施設の健全性を確保する必要がある。</li> <li>■ インフラの老朽化に対する課題認識が全国的に高まっており、漏水事故による社会的な影響を回避し安定給水を行うため、計画的な更新を行う必要がある。</li> <li>■ 上町断層帯地震や南海トラフ巨大地震等大規模地震の発生が懸念される中、令和 6 年能登半島地震での教訓を踏まえ、上下水道一体での耐震化や早期復旧のための体制構築を進める必要がある。</li> <li>■ 水道施設の耐震化には膨大な時間と費用が必要になるため、災害時に特に水道水が必要となる指定避難所や災害医療協力病院等の重要施設に接続する水道管路の耐震化など、優先度を踏まえた計画的かつ継続的な取組が必要である。</li> </ul>
取組の内容	<p>(取組 1) 水道水質の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 有機フッ素化合物 (PFOS・PFOA) の自己検査体制を整備し、水質基準を満たした安全な水道水の供給に加え、水安全計画や水質検査計画に基づき、水道水の安全性について市民に対して正確でわかりやすい情報発信を行う。</li> </ul> <p>(取組 2) 老朽化対策・地震対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 水道施設の健全性を確保するため、潜在するリスクへの対応を自ら考え、施設の特性に応じた点検結果などを基に、計画的に維持修繕・更新を行う。更新時にはダウンサイジング等を検討し、施設規模の最適化を図る。</li> <li>■ 水道施設の維持管理において、異常の兆候を見逃すことなく組織内で共有し、早期対応の徹底を図る。</li> <li>■ 令和 8 年 1 月に策定した铸铁管更新計画等に基づき、漏水リスクの高い水道管路を計画的に更新・撤去する。</li> <li>■ 各家庭へ水を配る配水支管の年間更新量を 22km から 24km に増加させ、老朽化対策を強化する。</li> <li>■ 令和 7 年度に実施した衛星画像の解析技術を活用したスクリーニング結果を基に、人的な漏水調査の実施及び技術的効果を検証する。</li> <li>■ 配水場や水再生センターなどの被災時に極めて大きな影響を及ぼす上下水道施設及び指定避難所等の重要施設に接続する上下水道管路について、上下水道一体で耐震化する。</li> <li>■ 応急給水用水の貯留機能確保のため、耐震性能が不足する配水池の耐震補強を推進する。</li> </ul>

スケジュール	前期 (～9月)	<p>(取組 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 有機フッ素化合物 (PFOS・PFOA) の自己検査体制の整備 (～7月)</li> <li><input type="checkbox"/> 関係法令に基づく水質検査の実施、水質検査結果等の広報 (通年)</li> </ul> <p>(取組 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 基幹管路更新工事の発注・施工 (南区檜尾等 約 8.8km) (通年)</li> <li><input type="checkbox"/> 配水支管の更新・耐震化工事の発注・施工 (通年)</li> <li><input type="checkbox"/> 衛星画像解析によって絞り込んだ漏水の疑いのあるエリアの漏水確認調査業務の実施 (調査延長 : 437km) 及び効果検証 (～3月)</li> <li><input type="checkbox"/> PFI 手法を活用した水運用管理システム更新事業 (設計業務) (通年)</li> <li><input type="checkbox"/> 堺市上下水道耐震化計画に基づく水道管路の耐震化工事の発注・施工 (堺区熊野町西約 1.1km) (～3月)</li> <li><input type="checkbox"/> 配水池耐震補強工事の実施設計業務の実施 (陶器・晴美台) (～3月)</li> </ul>	
	後期 (～3月)	<p>(取組 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 関係法令に基づく水質検査の実施、水質検査結果等の広報 (通年)</li> </ul> <p>(取組 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 基幹管路更新工事の発注・施工 (美原区平尾等 約 3.4km) (通年)</li> <li><input type="checkbox"/> 配水支管の更新・耐震化工事の発注・施工 (通年)</li> <li><input type="checkbox"/> 衛星画像解析によって絞り込んだ漏水の疑いのあるエリアの漏水確認調査業務の実施 (調査延長 : 437km) 及び効果検証 (～3月)</li> <li><input type="checkbox"/> PFI 手法を活用した水運用管理システム更新事業 (設計業務) (通年)</li> <li><input type="checkbox"/> 堺市上下水道耐震化計画に基づく水道管路の耐震化工事の発注・施工 (堺区熊野町西 約 1.1km) (～3月)</li> <li><input type="checkbox"/> 配水池耐震補強工事実施設計業務の実施 (陶器・晴美台) (～3月)</li> </ul>	
	次年度以降	<p>(取組 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 関係法令に基づく水質検査の実施、水質検査結果等の広報</li> </ul> <p>(取組 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 基幹管路および配水支管の耐震化 (更新) を計画的に進める。</li> <li><input type="checkbox"/> 堺市上下水道耐震化計画に基づく水道管路の耐震化を計画的に進める。</li> <li><input type="checkbox"/> 配水池耐震補強工事 (晴美台) (R9～R10)</li> <li><input type="checkbox"/> 水運用管理システム更新事業 (設計、建設及び維持管理業務) (～R25)</li> </ul>	
	進捗の状況	前期 (～9月)	
	後期 (～3月)		
堺市基本計画 2030	該当する 施策	5 - (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上 5 - (2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与する KPI	耐震性を確保した上下水道管路が接続する災害拠点数 [現状値 : 73/197 施設 (2024 年度) ]	目標値 (2030 年度) 127/197 施設

(様式)

未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	安全な水とトイレを世界中に	
		6		
	寄与する KPI	耐震性能を確保した上下水道管路が接続する災害拠点数 [現状値 : 73/197 施設 (2024 年度) ]	目標値 (2030 年度)	
			127/197 施設	

## 重要取組シート

上下水道局 下水道管路部、下水道施設部

取組項目		上下水道の安全・安心の確保 (老朽化対策・地震対策(下水道))
現状・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 下水道事業で保有する水再生センター3か所、ポンプ場5か所、下水道管約3,200kmの老朽化が進むなか、市民の安全安心を確保するためには、下水道施設の現状を把握し、潜在的なリスクを早期に抽出することにより、未然に事故を防止し、健全性を確保する必要がある。併せて、将来の改築需要を見据え、事業量の平準化を図る必要がある。</li> <li>■ 管路施設においては、埼玉県で発生した道路陥没事故を受け、下水道管路の全国特別重点調査結果等への対応など、下水道施設の老朽化対策をより重点化し、施設の健全性を維持・確保する必要がある。</li> <li>■ 上町断層帯地震や南海トラフ巨大地震等大規模地震の発生が懸念される中、令和6年能登半島地震での教訓を踏まえ、上下水道一体での耐震化や早期復旧のための体制構築を進める必要がある。</li> </ul>
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 施設の健全性を確保するため、潜在するリスクへの対応を自ら考え、施設の特性に応じた点検結果等をもとに、計画的な改築・修繕を行う。</li> <li>■ 全国特別重点調査により劣化が確認された下水道管路に対して計画的な修繕・改築を実施する。</li> <li>■ 下水道施設の維持管理において、異常の兆候を見逃すことなく組織内で共有し、早期対応の徹底を図る。</li> <li>■ 埼玉県の事故を受けた国土交通省主催の有識者委員会の答申や国の方針を踏まえ、管路施設の維持更新や再構築のあり方について見直しを進める。</li> <li>■ 配水場や水再生センターなどの被災時に極めて大きな影響を及ぼす上下水道施設及び指定避難所等の重要施設に接続する上下水道管路について、上下水道一体で耐震化する。</li> <li>■ 水再生センター・ポンプ場において、震災時に優先的な対策を必要とする揚水機能等の「重要な土木施設」に対して、耐震診断及び耐震化工事の施工可否の評価等を実施し、対策方法を検討する。</li> </ul>
スケジュール	前期 (~9月)	<input type="checkbox"/> 下水道管の改築及び耐震化工事の発注・実施(堺区熊野町東ほか)(通年) <input type="checkbox"/> 下水道管の改築及び耐震対策実施設計業務の発注・実施(堺区旭ヶ丘南町ほか)(通年) <input type="checkbox"/> 全国特別重点調査結果に基づく改築・修繕の実施(通年) <input type="checkbox"/> 下水道管の計画的調査の実施(通年) <input type="checkbox"/> 老朽化対策及び地震対策に係る事業内容の精査・見直し(通年) <input type="checkbox"/> 水再生センター・ポンプ場設備の改築更新工事の発注・実施(浜寺下水ポンプ場ほか)(通年) <input type="checkbox"/> アセットマネジメントシステムへの維持管理情報等の入力(通年) <input type="checkbox"/> 水再生センター・ポンプ場土木施設の耐震関連業務・工事の発注・実施(泉北水再生センターほか)(通年)
	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> 下水道管の改築及び耐震化工事の発注・実施(堺区熊野町東ほか)(通年) <input type="checkbox"/> 下水道管の改築及び耐震対策実施設計業務の発注・実施(堺区旭ヶ丘南町ほか)

		(通年) <input type="checkbox"/> 全国特別重点調査結果に基づく改築・修繕の実施 (通年) <input type="checkbox"/> 下水道管の計画的調査の実施 (通年) <input type="checkbox"/> 老朽化対策及び地震対策に係る事業内容の精査・見直し (通年) <input type="checkbox"/> 水再生センター・ポンプ場設備の改築更新工事の発注・実施 (浜寺下水ポンプ場ほか) (通年) <input type="checkbox"/> アセットマネジメントシステムへの維持管理情報などの入力 (通年) <input type="checkbox"/> 水再生センター・ポンプ場土木施設の耐震関連業務・工事の発注・実施 (泉北水再生センターほか) (通年)	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 下水道管に係る維持・改築修繕の計画的な推進 <input type="checkbox"/> 下水道設備に係る維持・改築修繕の計画的な推進 <input type="checkbox"/> 重要な土木施設の計画的な耐震化の推進	
進捗の状況	前期 (~9月)		
	後期 (~3月)		
2030 堺市基本計画	該当する施策	5 - (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上 5 - (2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与するKPI	耐震性を確保した上下水道管路が接続する災害拠点数 [現状値：73/197施設 (2024年度)]	目標値 (2030年度) 127/197 施設
		下水道の重点路線における健全性確保率 [現状値：※現状値は調査中]	目標値 (2030年度) 100%
	最も貢献するSDGsのゴール	ゴール番号 6・7	安全な水とトイレを世界中に エネルギーをみんなにそしてクリーンに
寄与するKPI	耐震性を確保した上下水道管路が接続する災害拠点数 [現状値：73/197 施設 (2024年度)]	目標値 (2030年度) 127/197 施設	
未来都市計画 堺市SDGs			

## 重要取組シート

上下水道局 下水道管路部、下水道施設部

取組項目		上下水道の安全・安心の確保 (浸水対策)
現状・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>■局地的な大雨等に対し、浸水状況や浸水シミュレーションから、浸水危険解消重点地区を選定し、雨水管や雨水ポンプ場の整備などの浸水対策を推進してきた。</li> <li>■近年、気候変動等の影響により、局地的な大雨が増加傾向にあり、本市においても、浸水被害が発生しており、気候変動による降雨量の増加を考慮した計画降雨等を検討した上で、今後の整備の進め方を検討する必要がある。</li> <li>■令和7年9月には想定最大規模降雨（時間雨量147mm）を対象とした内水ハザードマップを堺市e地図帳として市ホームページに公表しており、激甚化する雨水出水（内水浸水）被害に対して、ハザードマップ等を活用したリスクの理解や被災時の適切な避難行動など自助・共助による安全確保を推進する必要がある。</li> </ul>
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>■浸水被害の低減のため、浸水危険解消重点地区（13地区）を中心に雨水整備を進める。</li> <li>■気候変動による将来的な降雨量増加を考慮した計画の見直しを推進する。</li> <li>■関係局と連携し、想定最大規模の降雨を対象とした防災マップの改定を行う。</li> <li>■防災訓練等の機会を通じて、雨水出水による浸水リスクや適切な避難行動の周知・啓発に取り組み、自助・共助の活動を促進する。</li> </ul>
スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> 浸水危険解消重点地区に係る設計業務の実施（堺区出島町ほか）（通年） <input type="checkbox"/> 浸水危険解消重点地区に係る工事の実施（中区福田ほか）（通年） <input type="checkbox"/> 石津雨水ポンプ場建設事業整備方針検討業務の実施（通年） <input type="checkbox"/> 気候変動の影響を考慮した雨水整備計画の見直し（通年） <input type="checkbox"/> 防災マップ改定に向けた関係部局との協議・調整（通年） <input type="checkbox"/> 防災訓練等を通じた雨水出水リスク等の周知・啓発（通年・適宜）
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 浸水危険解消重点地区に係る設計業務の実施（堺区出島町ほか）（通年） <input type="checkbox"/> 浸水危険解消重点地区に係る工事の実施（中区福田ほか）（通年） <input type="checkbox"/> 石津雨水ポンプ場建設事業整備方針検討業務の実施（通年） <input type="checkbox"/> 気候変動の影響を考慮した雨水整備計画の見直し（通年） <input type="checkbox"/> 防災マップ改定に向けた関係部局との協議・調整（通年） <input type="checkbox"/> 防災訓練等を通じた雨水出水リスク等の周知・啓発（通年・適宜）
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 浸水危険解消重点地区などの雨水整備を進める。 <input type="checkbox"/> 気候変動の影響を考慮した雨水整備計画の見直し
進捗の状況	前期 (～9月)	
	後期 (～3月)	

(様式)

2030 堺市基本計画	該当する 施策	5 - (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上		
	寄与する KPI	-		目標値 (2030 年度) -
堺市SDGs 未来都市計画	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを	
	寄与する KPI	-		目標値 (2030 年度) -